「地域に愛される福祉活動」



滋賀県蒲生郡蒲生町立朝桜中学校生徒会福祉会

代表　田中　沙織さん（15歳）

私たち朝桜中学校生徒会は『地域に愛される福祉活動』をモットーに福祉会を中心に長年取り組んでいます。10数年前、私たちの町の玄関口でもある無人駅に落書きが目立ち始め、自動販売機が壊されたり、タバコの吸殻やゴミが散乱したりするようになりました。私達の先輩達が、「自分達の町は自分達の手できれいにしよう。そうすれば、きっと誰もがもっと大切にするのではないか。」と考え、11年前からゴミ拾いや除草作業や落書き消しをする活動を始めました。それ以来毎年6月と11月に、「駅舎清掃に参加しませんか。」とポスターを掲示し、福祉会を中心にボランティアを募ります。気持ちのよい汗を流して作業を終えた後の駅の様子をみて「やって良かった。もっと町をきれいにしたい。」という思いが高まり、今では毎回200名を超える中学生が参加するようになりました。今では町内4っの駅舎だけにとどまらず、公園や河川敷等に範囲を広げています。

また、障害のある子ども達との交流を深め、毎月行われるガンバクラブや夏休みのサマースクールにボランティアとして参加しています。5月に運動会、11月にふくろう祭りが行われている「いこい作業所」にお手伝いに行き、多くの人と触れ合う中で心温まる時間をすごしています。福祉会の中には「アルミ缶隊」というチームがあり、校内放送でアルミ缶を集めるための呼びかけや、毎週火・金に、回収箱を手に生徒昇降口に立って集めたり、地域へ出かけて回収したりして、その収益で車いすを購入し老人ホームに贈る計画をしています。

ユニセフ募金や世界身障者の作品購入、ミャンマーの学校へ送る支援物資協力など、全校をあげて積極的な取り組みを行っています。

私は、小さな願いや小さな思いでも、声に出して伝えれば大きく強くふくらんでいく活動ができてうれしいです。私達福祉会の活動が引き継がれ、広まり、『地球に住む一人でも多くの人が笑顔で心豊かに暮らせるように。』と願う人が増えるよう、頑張っていきたいです。



一覧へ戻る | 前へ | 次へ

青少年トップ > 国民運動の推進 > 善行青少年及び青少年健全育成功労者表彰 > 平成17年度 > 受賞者